



江南市政レポート

5月臨時会開催

5月12・13・16日に臨時会で、平成28年度の議会人事が決まりました。議長は鈴木貢さん（公明党市議団）、副議長は伊神克寿さん（江南クラブ）です。私は常任委員会では建設産業委員会に所属し、引き続き愛北広域事務組合委員と農業委員を務めます。

また、6月に新しくICT推進検討委員会が発足し、私が委員長を務めることになりました。さらに、所属している会派「江政クラブ」の幹事長を1年間努めます。

6月定例会開催

6月9日（木）から29日（水）まで6月定例会が開催され、14日（火）～16日（木）に一般質問が行われました。私の主な質問内容は下記の通りです。

1. 5月7日を「57(こうなん)の日」に

57を「こうなん」と読む事業を市では行っています。5月7日を「57(こうなん)の日」として、市民の方に喜んでいただける企画をしてはどうかと提案しました。

※長野県佐久（さく）市は、39が「さく」と読めることから、3月9日を「佐久市民の日」として各種イベントや協賛団体による特売セール等を実施しています。

来年からの実施に準備が間に合うかはわかりませんが、庁内の横断的な職員で構成する「シティプロモーション調査研究会」でアイデアを出し合って、大規模なイベントではないにしろ、市民の皆さんが気軽に参加でき、心がほっこりする企画を考えていきます。

2. 市民サービス向上の取り組みについて

(1) 参院選での期日前投票所の増設及び共通投票所の設置について

7月10日の参議院議員選挙において、大型商業店や駅前への期日前投票所の増設、時間延長、また、選挙当日の共通投票所の設置は行う予定はあるのかを尋ねました。

今回の参議院議員選挙につきましては、従来どおりの時間、場所で期日前投票を実施し、

当日の投票も従来どおりの投票区および場所での実施をしていく予定です。

(2) 市へのタブレット端末導入について



市民サービスの向上のため、窓口業務での利用や業務の効率化を目的にしたタブレット端末の導入を提案しました。

タブレット端末の導入が市民サービスの向上とともに、事務の効率化が図られるものでなくてはなりませんので、今後、議会ともよく相談しながら、検討していきます。

3. 財源確保と経費削減に対する取り組みについて

(1) 市へのネーミングライツ導入について

若手職員6名で構成する政策提案プロジェクトチームからの提案内容を踏まえ、市としてネーミングライツ（施設の命名権）を導入していく考えがあるのかを尋ねました。



提案内容を幹部会議において了承いたしました。今後は、実施に向けた具体的な手続きを策定し、平成30年度に開館を予定の新体育館をはじめ、募集が可能な施設においても、検

討を進めていきます。

(2) 一宮ファッションデザインセンターからの撤退について

他市町の状況やセミナーの実施事業への参加状況（江南市民の参加はほとんどありません）を踏まえ、負担金の減額や撤退について検討することを提案しました。

※負担金は一宮市約4,636万円、江南市288万円、稲沢市264万円、大口町と扶桑町は3万2千円で、犬山市と岩倉市など構成14自治体中7市町村が一時離脱(0円)しています。

改革委員会での検討結果を考慮した上で、今後の対応を考えていきます。

4. 福祉行政について

(1) 基幹相談支援センターについて

市では相談支援事業の対応に苦慮しているようです。よって、全面的に社会福祉協議会へ事業を委託することを提案しました。

福祉サービスの利用等に関する相談は、多くは市の支給決定が必要となり、この事務を円滑に行っていく上でも、市で行っていく必要があります。また、権利擁護に関する相談は、家族へのアプローチや関係機関との連絡調整などに市の対応を決定していく必要に迫られるケースが多くあり、市の関与は必要と考えています。



(2) 江南市総合支援協議会について

江南市総合支援協議会の下部組織である専門部会の現在までの開催状況を尋ねました。

相談支援部会、福祉サービス部会共に5月末に1回目の会議を開催し、各関係機関が抱える課題を情報共有し、地域の課題として整理する検討を行いました。結果、関係機関における連携や情報交換の不足、障害者に対する周囲の理解不足などの課題や、障害者、障害のあるお子さんへの切れ目のない支援の必要性について共通認識がされています。7月の全体会で報告を行い、全体会からの意見を踏まえて次の部会を8月頃実施予定です。

(3) 社会福祉枠での職員採用について

基幹支援相談センターや江南市総合支援協議会のような業務には、専門的な知識をもつ職員が必要です。社会福祉枠での職員採用の予定を尋ねました。

市では今年度、事務職のうち社会福祉の区分を設け、社会福祉主事任用資格を有する者または有する見込みの者を別枠で募集します。配属先につきましては、その専門的な知識を発揮してもらえよう、健康福祉部を中心に考えています。

5. 教育行政について

前教育長の在任中に「平成28年度教育基本方針」と「江南市の教育に関する大綱」が既に公表されており、様々な施策や方針が打ち出されています。引き続き方針を踏襲されていくのかどうか、村良弘(むら・よしひろ)新教育長に尋ねました。

4月から新教育長としてその任をいただきましたが、まずは、本年度の教育基本方針に掲げられた目標を引き続き踏襲し、その実現に向け、全力で取り組んでいきたいと考えています。そして、年度末にはその検証をしっかりと行う中で、課題を明確にし、29年度の教育基本方針に反映していきたいと思っております。

9月定例会開催

8月31日（水）から9月23日（金）まで9月定例会が開催され、5日（月）～7日（水）に一般質問が行われました。私の主な質問内容は下記の通りです。

1. 教育行政について

(1) スポーツ指導者養成費助成について

スポーツ指導者養成にかかる費用を助成する制度の設置を提案しました。

※北見市では認定資格取得に係る経費（交通費、宿泊費、認定資格登録料、



講習会参加費)の実質負担分の5割以内、6万円を上限に支給しています。

資格取得者への助成につきましては、取得の必要性や取得後にその資格をどのように活用していくのかが重要です。市体育協会などからの要望を踏まえて、検討していきます。



(2) 学習指導における ICT 活用について

小・中学校での学習教育における ICT の活用を推進するため、無線 LAN (Wi-Fi) 環境などの整備をどのようにしていくのかを尋ねました。

平成 29 年度に小学校、30 年度には中学校でコンピュータ教室のパソコン等の更新を予定しており、同時に校内無線 LAN の整備及びタブレット端末などの導入を検討しています。

2. 福祉行政について

(1) 地域密着型通所介護及び介護保険・日常生活支援総合事業について

本年 4 月から地域密着型通所介護が始まりましたが、変更点などが周知されておらずト

ラブルが起きています。来年4月からは介護保険・日常生活総合支援事業（新しい総合事業）が始まります。どのように周知徹底していくのかを尋ねました。

地域包括支援センター、各介護サービス事業所等と連携をはかり、利用者に周知していただくとともに、広報等でお知らせしていきたいと考えています。

(2) 地域包括支援センターについて

地域包括支援センターが市の北部と西部に偏っています。気軽に相談へ行けるように、現在の3か所から各中学校区に1つの計5か所へ増やすことを提案しました。

現在の3か所が妥当と考えていますが、市内の北部・中部・南部圏域における地域特性がみられている現状があり、今後、必要に応じ検討していきたいと考えます。

3. 健康増進に対する取り組みについて



(1) 階段利用キャンペーンの実施について

階段利用キャンペーンをいつから行うのか尋ねました。

本年10月から開始します。まずは市役所庁舎内での実施とし、来年度以降に他の施設を順次検討していきます。階段利用はこうなん健康マイレージの自己申告ポイントにもなりますので、健康づくりのきっかけとして取り組んでいただけるようPRしていきます。

(2) 足つぼロード設置について

足つぼロードを市の公園にも健康遊具として設置することを提案しました。

ニーズを把握したうえで、先進事例を調査研究していきます。

4. ネーミングライツの具体的な導入について

新体育館以外でも、例えば、市民文化会館、すいとぴあ江南、中央公園、江南駅前公衆トイレ、歩道橋などにネーミングライツを導入することを提案しました。

施設によっては指定管理者など関係企業との協議が必要となるほか、すいとぴあ江南につきましては市民に親しまれる施設として過去に愛称を募集した経緯など、それぞれの施設における特殊事情もあります。従いまして、施設所管課の移行や近隣市町の状況等も踏

まえ、導入可能な施設の選定につきましては、今後、調査研究していきます。

5. 公有財産を活用した太陽光発電事業者募集について

公共施設の屋上、例えば、小中学校の屋上を民間業者へ貸し出し、太陽光発電事業を実施してもらうことは、更なる再生可能エネルギーの利用促進につながると考えますが、いかがでしょうか。※名古屋市では屋根貸しで、本年6月末現在306施設・約16,000kWの発電規模の協定締結がされており、そのうち216施設・11,501kW規模の発電が開始されています。

現段階では太陽光発電に係る屋根貸しにつきましては、今後の公共施設の状況を踏まえ、施設管理者や関係各課との慎重な検討が必要であると考えています。

6. 市民サービス向上に対する取り組みについて

(1) 市役所フリーWi-Fiスポット拡大について

市役所1階のフリーWi-Fiスポットの拡充（通信速度と通信範囲）を提案しました。

現在のADSL回線から、通信速度を高めるため光回線への変更を検討していきます。通信範囲の拡大は、各階への来庁者の状況やニーズ等を考慮し、今後検討していきます。

(2) 江南駅前空き店舗の利用について

空き店舗を市として借り、観光案内所や期日前投票所などで使うことを提案しました。

市の観光行政の進め方や費用対効果などを考えて慎重に検討していきます。

ナゴヤドーム・ドラゴンズ応援バスツアー



8月11日（木・山の日）当後援会主催のナゴヤドーム・ドラゴンズ応援バスツアーを企画しましたところ、沢田和延江南市長をはじめ57名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

最初に名古屋市守山区にあるアサヒビール名古屋工場の見学をしました。広い工場内を約50分かけて見学した後、ビールとソフトドリンクの試飲をしました。ビールはこの工場で作ったものを3種類・3杯まで、ソフトドリンクは系列であるアサヒ飲料の缶・ペットボトルを3本まで飲むことができます。無料で見学でき、環境の学習もできるおすすめのお工場ですので、ご家族やご友人とぜひ見学してください。

※アサヒビール名古屋工場 <https://www.asahibeer.co.jp/brewery/nagoya/>

工場見学の後、ナゴヤドームで中日ドラゴンズ対ヤクルトスワローズの試合を観戦しました。昇竜デーのため、入場者全員に昇竜レプリカユニホームがプレゼントされる日でした。青いユニホームを着て頑張って応援しましたが、試合は残念ながら負けてしまいました。バスを降りる時に、またこのツアーを企画して欲しいという声もいただきました。みなさんからもいろいろなツアーのご提案をいただければと思っています。よろしくお願いいたします。



◇市政へ対するご意見、ご要望、ご質問および地域的課題なども下記へご連絡ください。

藤岡和俊後援会 藤和会(とうわかい)

電話&FAX (0587) 53-4050 〒483-8258 愛知県江南市上奈良町郷11番地1

URL ; <http://www.towakai.jimdo.com/> e-mail ; kazutoshi_fujioka@yahoo.co.jp